

SDGs とは、国連で決めた「持続可能な開発目標」のこと

SDGs とは「エス・ディー・ジーズ」と読み、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。

2001 年から 2015 年まで策定・実施されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継で、2015 年 9 月の国連サミットで策定された。15 年間の持続可能な目標として、2030 年を達成年限としている。

SDGs は、持続可能でより良い世界を実現するための 17 の目標と 169 のターゲットから構成されている。先進国や発展途上国に限らず「地球上の誰一人として取り残さない」という誓いのもと、さまざまな観点から課題に対する目標が定められた。

SDGs17 の目標とは

SDGs が掲げる「17 の目標」とは、世界中の人々が平等かつ安全に生きることのできる社会を作るための目標のことで、17 種類それぞれが現在の世界が抱える包括的な課題である。目標の中には飢餓や貧困の問題に対するものもあれば、気候や生態系など環境問題に対するものもある。

気候や生態系などの環境問題であれば、昨今の気候変動や外来生物の増加などで身近に感じる人も多いのではないだろうか。

一方で、飢餓や貧困というと、発展途上国の問題のように思える方も多いだろう。しかし、実際は日本社会にも子どもの貧困などの貧困問題が存在していることが報道などで取り上げられている。

国連が定めた 17 の目標は以下になる。

- **目標 1.** あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
- **目標 2.** 飢餓をゼロに
- **目標 3.** あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
- **目標 4.** すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- **目標 5.** ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
- **目標 6.** すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する

- ・目標 7. 手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
- ・目標 8. すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワークを推進する
- ・目標 9. レジリエントなインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る
- ・目標 10. 国内および国家間の不平等を是正する
- ・目標 11. 都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする
- ・目標 12. 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
- ・目標 13. 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
- ・目標 14. 海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
- ・目標 15. 森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
- ・目標 16. 公正、平和かつ包摂的な社会を推進する
- ・目標 17. 持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する

出典：国連本部のウェブページ

・SDGs の担い手としての次世代・女性のエンパワーメント、以下 8 つの取組一覧が発表された。

取組目標 行動の具体例・詳細

1. あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等・・・働き方改革の着実な実施や子どもの貧困対策など
2. 健康・長寿の達成・・・データヘルス改革や健康経営の推進など
3. 成長市場の創出・・・地域活性化、情報通信技術・研究開発強化や人材育成など
4. 持続可能で協調な国土の質の高いインフラの設備 戦略的な社会資本の整備や文化資源の保護など
5. 省・再生可能エネルギー・・・再生エネルギーや新エネルギーの導入促進など
6. 生物多様性・・・大気保全・化学物質規制対策や持続可能な農林水産業の推進など
7. 平和と安全・安心社会の実現・・・再犯防止対策・法務の充実や子どもの安全など
8. SDGs 実施推進の体制と手段・・・広報・啓発の推進や市民社会との連携など